

各位

『ベルメゾン生活スタイル研究所 スタイルモニターレポート Vol.12』

20-50代女性 535人に「ふだん使っている日本語」について聞きました。

**日本語が好きな女性は9割以上。
でも正しい日本語を話す自信のある人は4人に1人。**

一番好きな言葉は「ありがとう」一番嫌いな言葉は「うざい」

株式会社千趣会（本社 大阪市、代表取締役社長 行待 裕弘）が運営するベルメゾン生活スタイル研究所では、女性の生活スタイルや意識についての調査を随時行っております。

さて、このところ日本語をテーマにした書籍やテレビ番組に注目が集まっています。一方で、周囲の会話に耳を澄ましてみると、とても変な日本語が使われていることに気づきます。そこで今回はふだん何気なく使っている日本語について20-50代の女性535人に聞いてみました。

日本語が好きと答えた人は95.9%

まず、あなたは日本語が好きですかと質問したところ95.9%の女性が「好き」と回答。好きな理由を聞いてみると、繊細さや奥ゆかしさ、方言も含めての語感の良さ、言い回しの豊富さ、きれいな響き、美しい母国語であるなど、豊かな表現を持つ言語であることが好きの背景にあることがわかりました。

最近、日本語が乱れてきていると思っている人は約8割

最近使われている日本語が乱れていると思っている人は78.1%。大多数の人が日本語の乱れを実感しているようです。一方で「変化はしているが、それが乱れだとは思わない」「言葉は時代とともに変化していくもの」という意見もありました。

正しい日本語を話す自信がある人は26.2% 自信のない人は33.6%

あなたは正しい日本語を話す自信がありますかという質問に対しては、とても自信があると答えた人はわずか1.9%、自信があると答えた人24.3%を加えると4人に1人が自信ありという結果に。逆に自信のない人は3人に1人、33.6%という結果になりました。

今後日本語を勉強したいと思う人は60.9%、
子供の日本語教育にもっと力を入れていくべきだと思っている人は86.9%

今後日本語を勉強したいと思っている人は約6割、また9割近くの人が子供の日本語教育にもっと力を入れていくべきだと思っており、多数の人が日本語に対して高い関心を持っていることがわかりました。

一番好きな日本語は「ありがとう」一番嫌いな日本語は「うざい」

一番好きな日本語は「ありがとう」と答えた人が100人と最も多く、逆に嫌いな日本語は「うざい」と答えた人が75人で最も多い結果となりました。

なお、今回の調査結果について詳しくはベルメゾン生活スタイル研究所ホームページ www.belle-style.com をご覧ください。

調査の方法：ベルメゾン生活スタイル研究所のスタイルモニターバンクに登録している 20～59歳の全国の女性で有効回答数は535人。インターネットを使って2006年5月19日～5月24日に実施した。

本件に関する問い合わせ先

ベルメゾン生活スタイル研究所 米倉 知恵子 (<mailto:c-yonekura@senshukai.co.jp>)
〒530-0035 大阪市北区同心 1-6-23 TEL：06-6881-3043 FAX：06-6352-9286